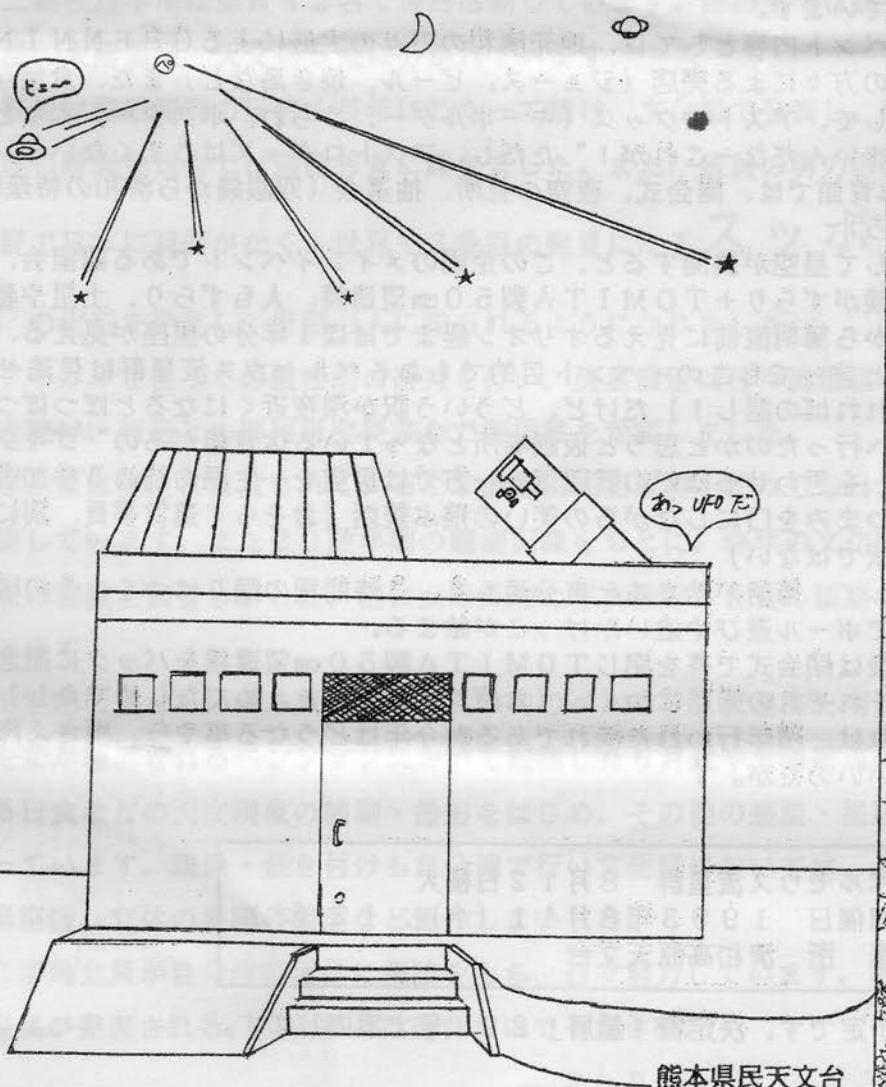


星屑

Vol. 220

7. 1993



熊本県民天文台



第6回

九州スターフェスタ 星の降る夜 in 清和 (予告編)

さて、今回もいよいよスターフェスタの季節が近くなりました。
最近本格的な梅雨に入り我が県民天文台又清和高原天文台の自慢のスライディングルーフも開けられず頭を悩ませる季節でもあります、逆に言えば運営委員に取っては長期休暇でもあり今の内に今までの疲労を取り除いていたほうが?

そして梅雨が開けるといよいよスターフェスタに向けての準備を開始し、昨年は、台風で中止になったので昨年の分も含めての盛り上がりがあればいいなとおもいます。

参加者は、例年数千人程で遠方からの参加者も多く大規模な企画イベントとなっています。

イベント内容としては、地元清和の方々の太鼓によるOPENNING 地元の方々による売店（ジュース、ビール、焼き鳥など）また、食堂（手作り）

そして、アストログッズ（キーホルダー、うちわ、ポスター、本など）

“うまいんだなーこれが！”ただし、アストログッズはうまくないぞ。

体育館では、開会式、夜空の見所、抽選会（双眼鏡から清和の特産物までいろいろ）

そして星空が展開すると、この企画のメインイベントである観望会、数台の望遠鏡がずらり+TOMITA製50cm望遠鏡、人もずらり、土星や春下旬の星座から簿明直前に見えるオリオン座までほぼ1年分の星座が見える、そしてなんと言ってもこのイベント目的でもあるペルセウス流星群は見逃せないぞ。（晴れればの話し！）だけど、どういう訳か深夜近くになるとぼつぼつ人々、どこへ行ったのかと思うと仮眠場所となっている体育館があの”ゴキブリほいほい”を思わせるほどの雰囲気、一方では星空を一生懸命眺める参加者やビルやつまみを口にしながらの笑いの飛ぶ談話（おそらく運営委員、別にどうと言う訳ではない）

そして、簿明が始まると自分達も2、3時間程の眠りにつく、その頃には運動場でボール遊びや追いかけっこが始まる。

最後は閉会式で幕を閉じTOMITA製50cm望遠鏡をバックに記念撮影そしてそれぞれの帰路につく。（お疲れさまでした。めでたしめでたし）

これは、例年行われた流れであるが今年はどうなる事やら、雨さえ降らなければいいのだが。？

☆ペルセウス流星群 8月12日極大

開催日 1993年8月11(水), 12(木)
場 所 清和高原天文台

の予定です。決定後「星屑」221号で案内します。

サークル紹介

第1回

今回は、会員でありながら日常部活動として活動しているサークルを紹介します。

☆（熊本中央女子高校 理科クラブの原稿は、編集に間に合いませんでしたので、第2回で紹介します。）

第二高等学校地学部

私達、第二高校地学部は部員42名で毎日活動しています。部の中では地質、気象、流星塵、太陽黒点、天文の5班に分かれています。

まず、地質班は御船層群の研究を長年にわたって続け、文化祭で発表し、昨年行われた理科研究発表会では最優秀賞に輝きました。また、班員の努力の結

果、御船層群で日本に前例がなく、世界で3番目の発見になるスッポンモドキの化石を発見し、世間の人々に知られるようになりました。

気象班はアサガオを使っての酸性雨の研究を行い、流星塵班は日々流星塵の観察・研究を続け、両班とも理科研究発表会で優秀賞を受賞しました。

次に太陽黒点班は屋上に設置されている15cm屈折式望遠鏡を使って毎日太陽黒点を観測しています。また20数年間の観測記録をもとに、昨年の文化祭で、太陽黒点の増減を調査しました。他に太陽黒点の写真撮影、日食の観測なども行っています。

最後に、地学部の顔ともいえる天文班は8月中旬のペルセウス流星群を阿蘇におられる先輩が経営されるペンションにおいて観測したり月食や太陽黒点班と合同する日食などの天文現象の観測・撮影をはじめ、その他の惑星・星座の撮影も行っています。現像・焼き付けも自分達で行い文化祭においては、パネル、巨大星座版、立体の星座の模型など製作しました。

このように部員全員が自分達の活動に興味をもち、日々努力しています。私たちの努力の成果が発表される、文化祭には是非おいでください。

おわり

クラブ紹介：

第一高等学校地学部

第一高校地学部は、6月10日現在3年生8名、2年生8名、1年生6名の計22名である。3年生は5月の一高祭（文化祭と体育祭を同時に行なうもの）の活動を最後に一応引退となる。そのためこれからは1・2年生14名で活動することになる。その1・2年生も大部分が一高祭のあとに入部したので、これから具体的に活動内容を検討していくことになる。

例年の活動を紹介しておくと、6月から10月までは秋に行なわれる県下生徒理科研究発表会のための活動が中心になる。昨年の研究は「台風19号の風による校内の樹木に対する影響」ということで最優秀賞をいただき、今年6月の熊本県高校総合文化祭に出品した。

3学期から5月にかけては一高祭に向けて、展示やプラネタリウムの内容を検討することになる。本校のプラネタリウムは、台本を作りそれをすべて暗記して上映するということが伝統になっているようで、例年観覧者の好評をえている。内容は黄道12星座にまつわる神話などが中心で、星空散策というような方面は苦手のようである。今年の展示は恐竜の実物大模型を作るということで、新聞紙で平面の実物大の恐竜を5体とチラノザウルスの頭部の立体模型を作成した。立体模型などは教室の窓から出すことが出来ない大きさになり、実際に作ってみて、その大きさを改めて実感することになった。

そのほか、学期に1回程度の天体観測と、夏休みの1泊の観測会を行なっている。夏休みの観測は「スターフェスタ」を利用させてもらったり、天文台を持っているペンションに行ったりしている。

日常の活動もまだまだ十分なものではないし、また、天文分野の活動も中心的なものではないので、「星屑」に紹介するにはあたらない点もあると思いますがお許し願いたいと思います。

7月の見所 (+ 6月号)

星雲 … 1個の星では無く、ガスや沢山の星が集まってボーッと見える物。

M 8 … いて座に在る、干渴星雲と呼ばれる肉眼でも判る星雲です。

M 17 … これもいて座に在り、白鳥の様な形をしたオメガ星雲です。

M 20 … 双眼鏡でも見える星雲で、M 8 の近くに在ります。

星団 … バラバラと星の散らばった散開星団とボール状に星が集まった状星団が有る。

M 4 … さそり座α星の近くにある球状星団で、双眼鏡でも良く見えます。

M 80 … さそり座に在る、小さな球状星団です。

M 6 … さそりのしっぽの先に在る双眼鏡向きの散開星団です。

M 7 … 場所が判れば肉眼でも見つけられる大きな散開星団です。

M 22 … いて座入星の近くに在る大きな球状星団です。

M 28 … M 22 よりずっと小さいですが、結構見やすい球状星団です。

M 54, 55, 69, 70, 75 … これらはいて座に在る球状星団ですが、ちょっと暗めで周りが明るいと見つけにくい球状星団です。

M 23 … へび座寄りに在る散開星団です。

M 25 … 星がバラバラっと在る散開星団で双眼鏡が御薦めです。

M 18, 21, 24 … その他いて座の小さな散開星団達です。

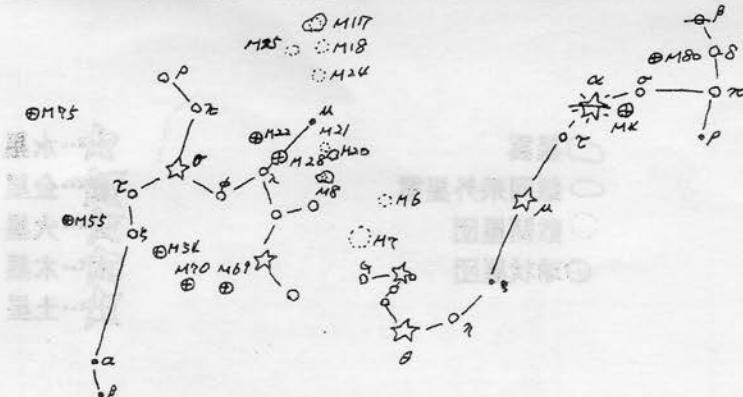
重星 … 目で見ると1個、しかし、双眼鏡や望遠鏡で見ると幾つかに別れて見えます。

見掛け上の重星と、お互いに引き合っている連星が有ります。

さそり座α星 … 赤い一等星アンタレスに緑色の5等の伴星がくっついています。

さそり座β星 … 白い3等の主星と青い5等の伴星が13度離れています。

いて座γ星 … 3等の橙色の主星に9等の白い伴星がボッちりとくっ付いています。



第一高等学校地学科
天文部

K e i k o の星空散歩

7月上旬 ☆ 午後9.00頃

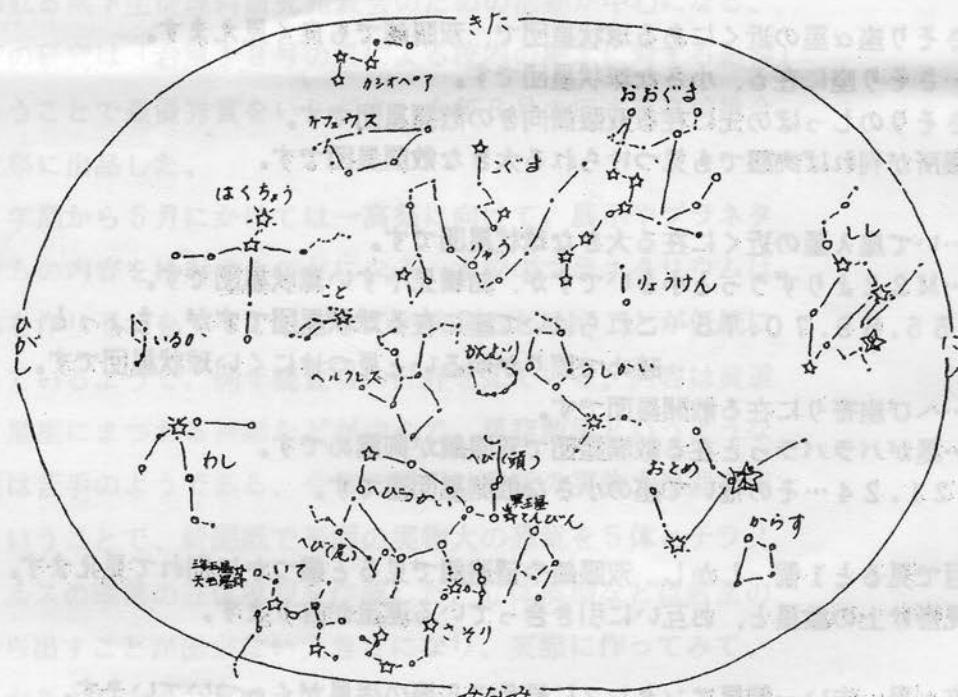
7月下旬 ☆ 午後8.00頃

と併せて星団、星雲などを紹介します。

そのためこれからは「まずアマゾン河をめぐらすのが銀河」星団アリ…お星
の上、2年生も「大富士山」を運ぶ船の運賃アリ…お星の上
から具体的に活動内容を検討していこうところから。

例へ方の問題を解くと、最初は星云アリ…お星の上に銀河アリ…銀河

なれる所下に星団アリ…お星の上に銀河アリ…銀河



そのため銀河アリ…お星の上に銀河アリ…銀河

なれる所下に星団アリ…お星の上に銀河アリ…銀河

それでは、銀河アリ…お星の上に銀河アリ…銀河

なれる所下に星団アリ…お星の上に銀河アリ…銀河

それでは、銀河アリ…お星の上に銀河アリ…銀河

なれる所下に星団アリ…お星の上に銀河アリ…銀河

それでは、銀河アリ…お星の上に銀河アリ…銀河

なれる所下に星団アリ…お星の上に銀河アリ…銀河

それでは、銀河アリ…お星の上に銀河アリ…銀河

なれる所下に星団アリ…お星の上に銀河アリ…銀河

それでは、銀河アリ…お星の上に銀河アリ…銀河

- ※ 1等星
- ☆ 2等星
- 3等星
- ・ 4等星以下

- △ 星雲
- 銀河系外星雲
- 散開星団
- ⊕ 球状星団

- ☆…水星
- 金…金星
- 火…火星
- 木…木星
- 土…土星

☆ 7月の天文現象＆行事

4日 満月 (08:45)

5日 地球が遠日点を通過 (1.016664天文单位)

7日 七夕 小暑

10日 月が最遠 (404408Km) うお座κの食

12日 下弦 T a l k — a b o u t

17日 月が最北 (+22° 19')

19日 新月

22日 月が最近 (365253Km)

23日 月が赤道通過、南半球へ 大暑

26日 上弦 小惑星エロスが地球に接近 (0.7675天文单位)

29日 月が最南 (-22° 16')

【4月の県民天文台～運営日誌より～】

開台率 23日/30日=76%
来台数 150名

4月分が1日
抜けていました

日付	天気	来客数	運営担当	記事
30(金)	はれ	町田さん のお母さ ん	安達、山口	階段に「動かないすずめ」がおちていたので 外のやぶに帰した。中尾氏月末のため来れず 松野、町田、艶島 (安達)

【5月の県民天文台～運営日誌より～】

開台率 20日/31日=64.5%
来台数 170名

日付	天気	来客数	運営担当	記事
2(日)	雨			スライディングルーフからの雨水で大きな水 たまりが出来ているそうです。土がながれ てしまふので建物側に雨うけのトイが必要 だとの必要だとの意見が出ています。 開所式案内状の発送 松野氏が雨の中土の流れてしまった芝生の 復旧をしていました。 観測室雨の降り込み応急処置しました。 中島、甲斐、松野 (艶島)
4(火)	晴れ	41名	永原、新村 濱野	月、木星、火星、カストル、レア、ミザール、アルコル 心ない人の手により☆の誘導板が破損してい ました。あーなき(濱野) 松崎さんが来たぞー 小林J、金柿、中島、新村
5(水)	晴れ	13名	小林J、 藪田、西村	火星、木星、月、ミザール 月を8ミリビデオで撮影のちプリントで投影 明暗わからず 艶島 (西村)
6(木)	あめ	0名		トークアバウト 開台式、総会について 12名
7(金)	曇	3名	中尾、中島 山口	木星、月が昇ってくる瞬間を望遠鏡で見た なかなかの見応えだった (山口)
8(土)	曇り時々 晴れ	9名	国吉	木星、おとめ座α、からくさ座δ、M97、M66、65 晴れ間、晴れ間に来台者。そしてすぐ曇って しまう。今日の天気って・・・ (国吉)
11(火)	晴れ	15名	濱野、竹下 山口	木星、火星、ミザール・アルコル、レア、ブレセ、M13 今度熊大天研に入部した首藤、川本、権藤です ようしくおねがいします。 月並みですがはやく土星の輪が見てみたいで す。 艶島、松野、池田、磯田、緒方 (濱野)
14(金)	曇り時々 晴れ	3名	中尾、山口	TOMITAさん以下4名 望遠鏡入れ替えの為、運営中止 ついに新しい望遠鏡が導入され現在調整中 です。調整作業をされた方おつかれさまです 小林J、艶島、金柿、永原、有馬 (山口)
15(土)	晴れ	17名	永井、国吉 高田	大掃除！電話がいっぱい いやー久しぶりにきれいになりましたー 木星、M104、M3青い色がついてきれい でした。いやー大きい望遠鏡ってスゴイ 私が小さくなったような気が・・・ (国吉) 西村、濱野、吉永、藪田、中島、永原 艶島、小林J、宮本先生夫妻、安達、西島 高さ1m4段式のみみ台が見事に完成しまし た。大きくなった望遠鏡での運営にあわせて 小道具も大きくなりました。 (艶島)

開所式
2日前に
望遠鏡
到着

16(日)	晴れ		艶島、甲斐 安達	天文台開所式 ★総会・講演会 ☆夜の部 おとまり、甲斐、浅地	70人 50人 20人 おとまり、甲斐、浅地
18(火)	曇り時々晴れ	9名	永原、濱野	木星と火星・・ああ薄暗いうちに曇ってしまった。と思ったら晴れてきてしました。 23:00までお客様が星に感動してなかなか帰ろうと言つてくれなかつた。(濱野) 艶島、国吉、中尾、町野	
19(水)	曇りのち晴れ	2名	立川	艶島氏とセッティングの調整 なかなか調整とは難しいものです。 小型のテレスコープの極軸合わせとは少々違う感有り「まといつか極軸も合うだろう」と 今日はこのくらいで。しかし41cmで観た 木星は素晴らしいの一言(立川) 艶島 艶島さんおつかれ様でした。	
20(木)	晴れ	12名	長谷、有馬 渡辺先生 D.渡辺	木星の大赤斑は良くみました 筒内の気流が落ち着くまで最低でも2H程かかるようです。(有馬) 山口	
23(日)	はれてい たけど 曇った	9名	艶島、中島 松野、安達	木星 ミーティングルームは高田さんの書斎 となってしまった(安達) 高田 天文台に入る途中雲に虹が写っててとっても きれいでした、虹色の雲、話の中だけの事か と思ったら本当にあったんですね(国吉)	
25(火)	晴れ時々曇り	16名	永原、濱野	M15, M56, M104, M13, 木星、月、スピカ、M65 最近平日としては火曜の来台者は多いようです(永原) (テレトレ) アウトロスケール両方使えるインターフェースが完成試運転の結果大変良好 これならメシエマラソンも楽々! そばから新村君が「これは便利だが、自分の存在感が薄れるようで複雑・・・」と感想をもらしている。(艶島) 艶島、新村、磯田	
26(水)	うす曇り	7名	小林J.うと 西村、藪田	うすぐもりだったので月と木星ぐらいしか 見れなかった	(宇都)
28(金)	晴れ	10名	艶島、西島 有馬、中島	月、木星、火星、M5, M13, M57, スピカ、ペガ、ザール 大変熱心なお客さん19h~22hまでしっかり 頑張って観望して行かれました。 22h前に雲が広がってくれなかつたら、私は 帰れなかつたかもしれません(艶島)	
29(土)	雨		永井、高田 国吉	星屑219号発送 永井、艶島、中島、立川、永原、高田、甲斐 中尾、国吉 あつと言うまに終わってしまいました。(国吉)	
30(日)	くもり	4名	艶島、甲斐	曇りの為、星見えず41cmで、自分の顔を 観察してもらいました。テレトレ、アストロスケールの ケーブルを床下へ収納しました。2台の性能に 改めて感激(甲斐)	
31(月)	曇りのち			熊本県宇土事務所税務課から緒方氏ほか1名 ※ 不動産取得税 算定のための調査に 応対 永井、艶島(永井) シャープ液晶プロジェクター 入荷(購入) 艶島氏より	

1993年AV騒動

今年、新天文台が出来てから旧天文台の時とは比べものにならないほどのAVシステムが続々とセットされた(TV, VTR, LDP, CDP, 他、ビデオプロジェクター, 120型スクリーンなどなど。)

これだけのAV機器が揃うとさすがに端子が足りない、そこでM氏が、AVセレクターを¥50000-という価格で仕入れ天文台に寄付された。見事解決!!

ところが、ある日、自分とH氏と”TVがつかんつかん”とAVセレクター、TV, VTRのSWを押しまくり、あきらめかけた直前、最後に押したSWでTVがついた、自分達では、数十、数百回に及ぶSWを押したため、A氏に”どうやってつけたん?”しかし”さーがむしゃら押したらついちゃったんですよ”これくらいしか答えられなかった。

なんでTVごときにこんな苦労せなあかんのか、とても不思議だった。最初はTV, VTR, カセット、ラジオ、アンプだけだったのが、現在では、CDP, LDP, ビデオプロジェクターと大幅にPOWER UPされたためであった。よく考えると、持ち寄りのビデオテープやLDさえ有れば年会費を払うだけで年会費分だと2,3回しか観れないのに、天文台では、20, 30回分にもなる、カラオケにしても同じ事である。”すごい!!”しかしこれだけのAV機器があると今度騒動がおこるのは、あの便利な”リモコン”だろうと思う。

“あらリモコンは?、何であんな所にあっと、めんどくせい。”と、マニアルでつける人がでてくるだろう。

いまや、電気製品が増えるという事は、リモコンも増えるということである。さて、続々増える”リモコン”きらわれるのはいつか?

また、人間もパニックになるであろう。いつの日か又おもしろい原稿が出来そうだ。

ビデオプロジェクターのリモコンをTV感覚でスクリーンに向け送信しないように。

やはり、はじめてさわる人に取ってマニアルは必要ではないだろうか?

END

熊本県民天文台機関誌 「星屑」 1993年 7月号 通巻220号
発行所 熊本県民天文台 ☎ 861-41

熊本県下益城郡城南町塚原古墳公園内

TEL 0964-28-6060

熊本県民天文台事務局 ☎ 860 熊本市古京町3番2号

TEL 096-324-3500

振替口座 熊本8-24463

熊本県民天文台事務局

編集担当 山口 祥貴